調　査　の　概　要

1　調査の目的

家計調査は、国民生活における家計収支の実態を把握し、国の経済政策・社会政策の立案のための基礎資料を得ることを目的としている。

2　調査の方法

調査は、標本調査により実施し、世帯に「家計簿」を記入してもらうことによって行っている。二人以上の世帯の場合、１世帯の調査期間は６か月間として、調査世帯数は全国で8,076世帯、北海道で318世帯であり、調査世帯は毎月６分の１世帯を抽出替えしている。

3　調査の対象

令和４年（2022年）の本道の調査市町は次のとおりである。(　)は調査世帯数（二人以上の世帯）。

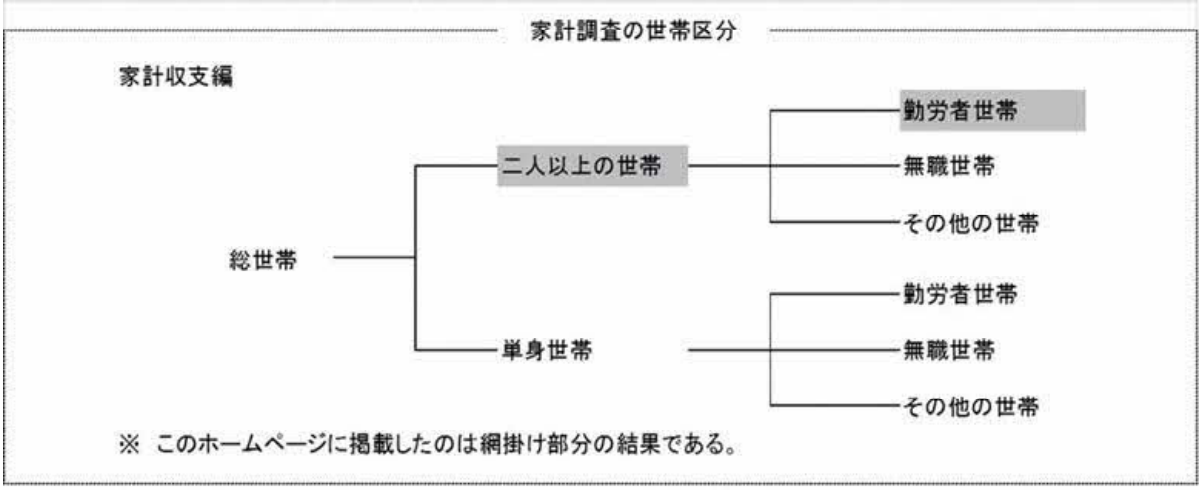
札幌市(96)、函館市(36)、旭川市(36)、室蘭市（24)、北見市(24)、千歳市（24)、赤平市（12)、登別市(12)、網走市(12)、新得町（12)

4　用語の説明

実収入	いわゆる税込み収入のことで、世帯員全員の現金収入を合計したもの。
実収入以外の受取	言わば、見せかけの収入であり、預貯金引出などのように、現金が手元に入るが、一方で資産の減少、負債の増加を伴うもの。
可処分所得	実収入から税金、社会保険料などの非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のこと。
実支出	消費支出と非消費支出を合計したもの。
実支出以外の支払	言わば、見せかけの支出であり、預貯金などのように、手元から現金が支出されるが、一方で資産の増加、負債の減少を伴うもの。
消費支出	いわゆる生活費のことで、日常の生活に必要な商品やサービスを購入して実際に支払った金額。
非消費支出	税金や社会保険料など、原則として消費者の自由にならない支出。
黒字	実収入から実支出を差し引いた額。可処分所得から消費支出を差し引いた額も一致する。
貯蓄純増	（預貯金＋保険掛金）－（預貯金引出＋保険取金）
平均消費性向	消費支出÷可処分所得×100(%)
黒字率	黒字÷可処分所得×100(%)
平均貯蓄率	貯蓄純増÷可処分所得×100(%)
エンゲル係数	食料費÷消費支出×100(%)
消費者物価指数	総務省統計局で作成した各費目ごとの指数を用いている。
名目増加率	生活費として実際に支払った金額で計算した増加率。
実質増加率	実際に支払った生活費から物価の上昇(下落)により増加(減少)した分を調整して計算した増加率。

5　収支項目分類

- 受取
  - 実収入
    - 経常収入
      - 勤め先収入
        - 世帯主収入
          - 定期収入
          - 臨時収入・賞与
        - 世帯主の配偶者の収入
        - 他の世帯員収入
      - 事業・内職収入
        - 家賃収入
        - 他の事業収入
        - 内職収入
      - 他の経常収入
        - 財産収入
        - 社会保障給付
        - 仕送り金
    - 特別収入
      - 受贈金
      - その他
  - 実収入以外の受取
    - 預貯金引出
    - 保険金
    - 有価証券売却
    - 土地家屋借入金
    - 他の借入金
    - クレジット購入借入金
    - 財産売却など
  - 繰入金
- 支払
  - 実支出
    - 消費支出
      - 食料
      - 住居
      - 光熱・水道
      - 家具・家事用品
      - 被服及び履物
      - 保健医療
      - 交通・通信
      - 教育
      - 教養娯楽
      - その他の消費支出
    - 非消費支出
      - 直接税
        - 勤労所得税
        - 個人住民税
        - 他の税
      - 社会保険料
      - 他の非消費支出
  - 実支出以外の支払
    - 預貯金
    - 保険料
    - 有価証券購入
    - 土地家屋借金返済
    - 他の借金返済
    - クレジット購入借入金返済
    - 財産購入など
  - 繰越金



内容の照会先

北海道 総合政策部 計画局
統計課 生活統計係
〒060-8588　札幌市中央区北３条西６丁目
電話011-231-4111（内線23-658）